

飛べ！ 手作りロケット！

津別小学校でロケット教室実施

9月24日、民間で宇宙ロケットの開発に取り組んでいる植松電機（赤平市）の植松努氏を講師に招き、手作りロケット教室が開かれました。

教室には小学5、6年生が参加し、植松氏による「宇宙ロケット開発」思うは招く、夢があればなんでもできる」をテーマにした講演の後、実際にロケット作りに挑戦。ロケットの仕組みを学び、火薬に対する有益な利用方法や安全で正しい知識を習得しました。

午後からは津別小学校のグラウンドで発射実験が行われ、自分たちの手作りロケットが勢いよく打ち上げられるたびに、大きな歓声が上がりました。



青空の下で健脚を競う

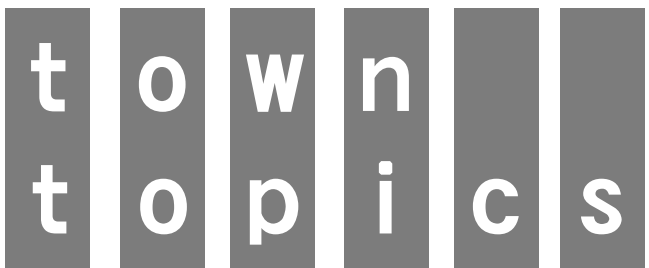
第11回つべつ紅葉マラソン大会開催

10月7日、スポーツを通じて友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図る「第11回つべつ紅葉マラソン大会」が行われ、町内外から参加した230名余りのランナーが健脚を競いました。

秋らしい爽やかな青空の下、参加者はそれぞれ体力に応じてハーフコース、10kmコース、5kmコース、3kmコースに分かれ、午前10時30分に一斉スタート。



今年から開会式の会場とゴール地点が津別小学校グラウンドに変更になったこともあって、数多くの観客が次々とゴールインするランナーに、盛んな声援を送っていました。



まちのわだい

ホームステイで異文化に親しむ 青少年海外研修派遣出発式

10月9日、町長室で平成24年度の青少年海外研修派遣事業による、ニュージージーランド研修の出発式が行われました。

今年参加するのは津別高校2年生の建石彩花さん、1年生の稲垣佑哉君、植松日南子さんの3名と、引率の山口寛隆教諭

生徒たちは「積極的に話しかけて友だちをたくさん作りたい」（建石さん）、「いろいろなことを積極的に学びたい」（稲垣君）、「研修での経験をこれから活かしたい」（植松さん）と、それぞれ抱負を語ってくれました。



佐藤副町長からは「若いうちに文化や生活の違いを経験することは大事」と、激励の言葉がありました。

日本の伝統芸能に触れる

歌舞伎フォーラム公演

9月27日、中央公民館開館30周年記念事業の一環として、歌舞伎フォーラム公演が行われました。

第一部のワークショップ「助六ができるまで」では、役者が歌舞伎の代表的なキャラクター、助六に変身するまでを解説付きで実演。完成後は、艶やかな舞踊が披露されました。

第二部では、世話物といわれるジャンルの歌舞伎の演目「あままと泥棒」が上演され、観客は役者の独特の所作やコミカルな台詞の



やり取りなど、伝統芸能の奥深い魅力を堪能していました。

神奈川総合高等学校

昨年に引き続き農業体験

9月28日、神奈川県立神奈川総合高等学校の2年生29名と教員3名が、研修旅行に訪れました。

津別町グリーン・ツーリズム運営協議会（矢作芳信会長）での受け入れは、8月に続いて今年2回目。同校は昨年に引き続きの受け入れとなり、畑作・酪畜農家10戸に分かれて、2泊3日で津別町の農業を体験しました。



酪畜家では、早朝から搾乳や子牛の世話。畑作農家では、豆の収穫やじゃが芋、玉葱の選別などで汗を流し、生徒たちは「作業は楽しいし、食事も美味しいものばかり。またいつか津別町に来ます」と約束してくれました。

津別の魅力が盛りだくさん 第2回つべつ産業まつり開催

10月14日、「津別まるごとフェア・第2回つべつ産業まつり（主催）つべつ産業まつり実行委員会」が、さんさん館と周辺の町道を会場に開催され、たくさんの方が津別の秋の味覚と特産品の魅力に触れました。

開会セレモニーに続き、山鳴太鼓保存会の威勢の良い太鼓演奏で幕開けした会場では、いも・玉ねぎ詰め放題、米や卵などのタイムサービス、お楽しみ抽選会などお得で楽しい企画が目白押し。

焼き鳥や豚汁、ピザ、カレーライスなど食べ物、飲み物の出店もバラエティに富み、客足が絶えませんでした。

また、会場の一角にはドライビングシミュレーターやフアフアなど無料で楽しめるアトラクションも用意され、子どもからお年寄りまで、おいしくて楽しい秋の一日を満喫していました。



RECつべつが美しい音色を披露



山鳴太鼓保存会の演奏で幕開け



大人気の特産品販売所



食べ物の出店も大にぎわい

フラワーマスター連絡協議会発足 花の地域づくりに取り組む

花の地域づくりに取り組むための組織、「津別町フラワーマスター連絡協議会」が設立されました。町内のフラワーマスター（花の育成管理、まちなみ景観に配慮した花の使い方などを指導助言できる人）のことで、北海道知事が認定）の有志30人で構成されています。

7月に津別町でフラワーマスター認定講習会が開催され、多くの町民が新たに認定を受けたことから、お互いに力を合わせて活動しようという声があがり、組織が立ち上げられることになりました。



9月25日に設立総会が開催され、初代会長には土屋けい子氏が就任しました。

小学校の木育授業

加賀谷木材株の工場見学

10月11日、町内3小学校の5年生34名が加賀谷木材株を訪れ、工場を見学しました。

児童の木材に対する親しみや、木の文化への理解を深める、木育授業の一環として実施されたもので、加賀谷社長ら自らが会社の歴史などを紹介した後、工程のひとつひとつを説明しながら工場内を案内していただきました。

子どもたちは、原木が巨大な丸のこぎりでカットされ、徐々に薄い経木などの製品に変化していく



様子を見学して興味深そうに見学していました。